

平岡氏「瑞宝小綬章」 教え子ら50人お祝い

亀山 重量挙げ競技を普及

【亀山】元亀山市副市長の廣森繁氏(70)が発起人となり、叙勲「瑞宝小綬章」(四月二十九日付)の平岡一能氏(60)に亀山市みずほ台IIを祝う会が六日、同市東御幸町の市文化会館内中央コミュニティセンターであり、当時の教え子や関係者ら計五十人が出席した。

平岡氏は昭和四十五年、県ウエイトリフティング協会理事長に就任してからは、県開催の全国高校総体を亀山市に誘致したり、亀山高校と四日

市中央高校に、全国で初めて専用練習場を整備するなど五十四年間、ウエイトリフティング競技の道筋をつけるなどの功績により、スポーツ振興・教育功労部門で受章した。

あいさつで廣森氏は、「平岡先生との関係は、亀山高校で重量挙げの指導をしていただけで、約半世紀にわたりお付き合いをしています」と述べ、「平岡先生の叙勲は、皆の一生の誉れです。今後ともお体に気を付け、後進への指導をお



平岡氏(中央)の祝う会に集まった教え子や関係者ら＝亀山市東御幸町の市文化会館内中央コミュニティセンターで

願います」と祝った。平岡氏は「これまで関わってきた協会関係者や教え子に囲まれ、感無量です。ウエイトリフティング競技を、もっと多くの人に知ってもらえるよう努めるのが、わたしの最後の役目です」と話した。

略歴 元県ウエイトリフティング協会理事長、同協会副会長、元亀山市ウエイトリフティング協会会長、元県立白子高校校長など歴任。